

「隣のレジは早い」

第 15 組養泉寺 名畑 周

うちのお寺の山門の横に昔から掲示板があります。

これまであまり熱心に法語を掲示していませんでしたが、去年の正月に「毎月、法語を掲示しよう」と思い立ち、これまでの2年間掲示を続けています。

山里の40軒ほどの小さな集落ですので、多くの人の目に留まることもなく静かに継続しています。ただ、お寺の事は父親任せという働き盛りの男性が毎月楽しみにしてくれていたたり、お同行ではない近所の若いママさんが、掲示板をSNSに載せてくださったりと、思わぬ方々から言葉をいただき、励まされています。

これまでの掲示の中で、最も反響があったのは「隣のレジは、早い」という言葉です。

スーパーが混んでいると、並んでいる人が一人でも少ないレジ、カゴの中の商品が少ないレジ、レジ捌きが上手なパートさんがいるレジなど様々な情報をかき集めて最も早そうなレジに並びます。すると往々にして、自分が早いと予想したレジは隣のレジより遅くなります。

そして、前に並んでいる小銭を出すのがゆっくりなおじいさんや、商品が少し

傷んでいて交換に行ったきりなかなか帰ってこないレジの人や、レシートの紙がちょうど切れて紙交換しないとイケないことなど、遅れる原因となった様々なことに強くイライラします。なぜこんな遅いレジに並んでしまったのか、と浅からざる後悔をしてしまいます。

一刻を争うような急ぎの用がある訳でなく、たかだか2~3分というわずかな時間にもかかわらずです。

そもそも、レジが1台だけならば選択の余地はありません。イライラや後悔は起こらないのに、レジが2台3台と複数あると、ついついどれが早いかを比べてしまいます。

比べなければ、遅いも早いも、勝った負けたもなく、淡々と自分の買い物を済ませられるのに、比べる事によって、元は何もないところにわざわざ自ら苛立ちや腹立ちを生み出してしまっています。

レジだけでなく、昨日買ったすき焼き用のお肉が今日はタイムサービスで安くなっていたり、昨日買いそびれたキャベツの特売が今日は終わっていたり。人と比べるだけでなく、昨日の自分や明日の自分とも比べて損した得したと一喜一憂しています。スーパーに限らず、仕事でも車の運転でも毎日の暮らしの中でも同じことでしょう。

かといって比べることを止めるのは、凡夫の私には不可能です。

できればそんな時に、また比べてしまってるなー、生み出してしまってるなー、
と笑って受け止めたいものです。